

**平成28年度**

**副専攻コース履修案内**

**岡 山 大 学**

# 目 次

1	副専攻コースの趣旨	1
2	コースの種類とコース開設学部等	1
3	履修対象者	2
4	履修の申請方法	2
5	履修の許可	2
6	履修の開始時期	2
7	履修方法等	3
8	修得単位の取扱い	3
9	修了証書の授与	4
10	その他の留意事項	4
	●各学部履修対象者判定基準	5
	●修了できなかった場合等の単位の取扱い	6
	●各コースの履修方法等	7

## 1 副専攻コースの趣旨

副専攻コースとは、学生の皆さんが所属する学部や学科等の専門分野で学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養ってもらうために、各学部が定めている教育課程（カリキュラム）とは別の教育課程として設けたもので、全25コースがあります。（平成28年度入学者は全21コース）

副専攻コースは、所属学部の学習において優れた成績を修め、かつ、開設学部を受け入れを許可された者を履修対象者としており、修了すると『修了証書』が授与されます。

ただし、副専攻コースで修得した単位は、原則として所属学部の卒業要件単位にはなりません。

この冊子をよく読んで、副専攻コースの履修方法や単位の取扱いを間違えないようにしてください。

## 2 コースの種類とコース開設学部等

副専攻コースの種類と受入予定人数及び学部等は、以下のとおりです。

コース名	受入予定人数	開設学部等
英語コース 日本語教育コース	40人程度 15人程度	基幹教育センター
ドイツ語コース フランス語コース 中国語コース （平成27年度入学者まで） 哲学芸術学コース （平成27年度入学者まで） 行動科学コース （平成27年度入学者まで）	15人程度 15人程度 10人程度 5人 5人	文学部
教育科学コース 小学校CSTコース	20人 若干人	教育学部
現代市民法専攻コース 公共政策専攻コース	5人 5人	法学部
数学コース 物理学基盤コース 物質科学コース 生物科学コース 地球科学コース	若干人 若干人 若干人 若干人 若干人	理学部
国際保健コース 放射線安全管理・応用学コース	5人程度 5人	医学部
システムマネジメントコース	10人	工学部
環境科学コース 廃棄物マネジメントコース （平成27年度入学者まで）	5人 5人	環境理工学部
農芸化学コース 応用植物科学コース 応用動物科学コース 環境生態学コース	5人 5人 5人 5人	農学部

### 3 履修対象者

副専攻コースの履修対象者は、次の学部の学生で、所属学部の学習において優れた成績を修めている者として、各学部が定める成績優秀者としての判定基準は、5ページ「各学部履修対象者判定基準」のとおりです。

- ① 文学部 ② 教育学部 ③ 法学部（昼間コース） ④ 経済学部  
⑤ 理学部 ⑥ 工学部 ⑦ 農学部 ⑧ マッチングプログラムコース

なお、次の学部の学生は、所属学部のカリキュラムとの関係から、副専攻コースを履修することはできません。

- ① 法学部（夜間主コース） ② 医学部 ③ 歯学部  
④ 薬学部 ⑤ 環境理工学部

また、コースによっては、上記以外に、入学年度・所属学部等の条件がありますので、7ページ以降の「各コース履修方法等」を参照してください。

### 4 履修の申請方法

副専攻コースの履修を希望する場合は、次の表に示す時期に、所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により、所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

コースの区分	申請時期	提出先
1年次第1学期から2年次第2学期までに履修することができるコース	全コースとも、申請の時期は、 <b>2年次の次の期間</b> です。 <b>平成27年度入学者の申請時期</b> 《平成28年7月15日（金） ～7月29日（金）まで》	所属学部等の教務担当
2年次第3学期から履修することができるコース		

注) 1 「1年次第1学期から2年次第2学期までに履修することができるコース」の授業科目は、コースが指示する履修順序に従って、1年次第1学期から2年次第2学期までの、いずれからでも履修を開始することができます。

2 なお、上記1の場合において、2年次第2学期分までの授業科目の履修登録は、通常の履修手続きのとおりです。

### 5 履修の許可

履修の許可は、副専攻コース開設学部（基幹教育センターを含む。）が、学生の所属学部から優れた成績を修めている者として副専攻コース履修に係る申請があったものについて、審査等を行い決定します。

審査結果の学生への通知は、所属学部の教務担当を通じて行います。

通知方法・時期については、教務担当から別途掲示等により指示があります。

### 6 履修の開始時期

副専攻コースの履修開始は、原則として、2年次の第3学期からです。

ただし、コースによっては、教育効果等を勘案して、1年次第1学期などの早い段階から履修するよう指示していることがあります。この場合、各コースが指示する時期から履修することが可能です。

ただし、コースの指示により、早い時期から履修している場合であっても、2年次の7月の申請時期に「4 履修の申請方法」による申請手続が必要です。

また、申請の結果、副専攻コースの履修を認められなかった場合は、2年次第3学期以降、副専攻コースの授業科目を履修することはできません。

各コースが指示する履修の開始時期は、次のとおりです。  
 なお、個々の授業科目の履修時期は、7ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

コ ー ス 名	履修の開始時期	コ ー ス 名	履修の開始時期
英語コース	1年次第1学期から	数学コース	2年次第3学期から
日本語教育コース	1年次第1学期から	物理学基盤コース	2年次第3学期から
ドイツ語コース	1年次第1学期から	物質科学コース	2年次第3学期から
フランス語コース	1年次第1学期から	生物科学コース	2年次第3学期から
中国語コース	1年次前期から	地球科学コース	2年次第3学期から
(平成27年度入学者まで)	(平成27年度入学者のみ)	国際保健コース	2年次第3学期から
哲学芸術学コース	2年次第1学期から	放射線安全管理・応用学コース	2年次第3学期から
(平成27年度入学者まで)	(平成27年度入学者のみ)	システムマネジメントコース	2年次第1学期から
行動科学コース	2年次第1学期から	環境科学コース	1年次第1学期から
(平成27年度入学者まで)	(平成27年度入学者のみ)	廃棄物マネジメントコース	1年次前期から
教育科学コース	1年次第1学期から	(平成27年度入学者まで)	(平成27年度入学者のみ)
小学校CSTコース	2年次第1学期から	農芸化学コース	2年次第3学期から
現代市民法専攻コース	2年次第3学期から	応用植物科学コース	2年次第3学期から
公共政策専攻コース	2年次第3学期から	応用動物科学コース	2年次第3学期から
		環境生態学コース	2年次第3学期から

## 7 履修方法等

各副専攻コースの授業科目の履修方法及び修了要件等については、7ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

各コースの授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目又は各学部作成のシラバス・時間割等により確認してください。

## 8 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した単位は、教養教育科目を除き、原則として所属学部の卒業要件単位に算入されません。

### (1) 2年次の第3学期より前までの取扱い

履修の開始時期が、2年次の第3学期より早い副専攻コースを履修している場合、修得した授業科目・単位の扱いは、教養教育科目、専門教育科目とも所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

### (2) 2年次の第3学期以降の取扱い（副専攻コースの履修を許可された時期以降）

履修を許可された者が、副専攻コースにおいて修得した授業科目・単位の扱いは、以下のとおりです。（2年次の第3学期より前に修得した単位も含む。）

- ① 教養教育科目については、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。これに含まれない授業科目は、副専攻コースの教養教育科目として取扱います。

注) 1 所属学部の卒業要件単位となっている教養教育科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。(ただし、経済学部夜間主コースについては双方のカウントの上限は20単位までです。)

2 全学開放の専門基礎科目は、平成27年度以前入学者の場合、教養教育科目の個別科目として扱われます(平成28年度以降入学者は教養教育科目の知的理解科目として扱われます)ので、副専攻コースを構成する授業科目に該当している場合は、この科目についても、副専攻コース修了要件単位として双方にカウントします。

② 専門教育科目については、副専攻コースの専門教育科目として取扱います。

**(3) 成績証明書等への科目区分の表記について**

成績証明書等への表記は、修得単位の取扱いの(1)及び(2)の取扱いに基づいて、「その他科目」として表記します。

**(4) 副専攻コースを修了できなかった場合、履修を許可されなかった場合等の取扱い**

副専攻コースを修了できなかった場合等の取扱いについては、6ページを参照してください。

## **9 修了証書の授与**

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書(副専攻コースの全修得科目も記載)」を交付します。

## **10 その他の留意事項**

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

**●各学部履修対象者判定基準**

学 部	判 定 基 準
文学部	<p>2年次第2学期終了時まで45単位以上を修得し、修得した科目の1単位あたりの平均点が80点以上であること。            平均点の計算式はつぎのとおりとする。            (評価欄がA+, A, B, Cの科目の単位数×当該授業科目の評点)の総和            評価欄がA+, A, B, Cの科目の単位数の合計</p>
教育学部	<p>2年次第2学期までに60単位以上修得(評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。)し、GPAが2.7以上であること。</p>
法学部 昼間コース	<p>2年次第2学期までに56単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上であること。</p>
経済学部 昼間コース 夜間主コース	<p>2年次第2学期終了時まで、卒業要件算入単位を53単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上とする。</p>
理 学 部	<p>以下の2つの条件をいずれも満たすこと。            ① 1年次終了時まで、履修修得単位数が40単位以上で、単位平均点が80点以上であること。            ② 所属学科において、副専攻コースの履修が可能と認められた者。</p>
工 学 部	<p>1年次の成績が、上限単位数の8割以上を修得し、平均点が80点以上であること。</p>
農 学 部	<p>(平成27年度入学生)            以下の3点を全て満たすこと。            ① 1年次終了時まで教養教育科目のうち個別科目(自然科学)を3単位以上、外国語科目(英語)を2単位以上取得していること。            ② 1年次終了時までの専門基礎科目を20単位以上取得していること。            ③ 1年次終了時まで取得した科目の平均点が80点以上であること。</p> <p>(平成28年度入学生)            以下の3点を全て満たすこと。            ① 1年次終了時まで教養教育科目のうち知的理解(現代と自然)を3単位以上、言語(英語)を2単位以上取得していること。            ② 1年次終了時までの専門基礎科目を20単位以上取得していること。            ③ 1年次終了時まで取得した科目の平均点が80点以上であること。</p>
マッチングプログラムコース	<p>単位修得状況が良好、成績優秀で副専攻コースの履修が可能と認められた者。ただし、平成27年度入学生については、英語コース、ドイツ語コース、フランス語コース及び中国語コース以外のコースの履修はできません。平成28年度入学生については、英語コース、ドイツ語コース、及びフランス語コース以外のコースの履修はできません。</p>

**●修了できなかった場合・履修を許可されなかった場合の単位の取扱い**

学 部	単 位 の 取 扱 い
文 学 部	文学部の卒業資格単位（文学部履修細則第3条）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
教育学部	教育学部の卒業要件（教育学部規程第16条に定める別表第8及び第17条に定める別表第9）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
法学部 昼間コース	法学部の卒業資格単位（法学部規程）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
経済学部 昼間コース 夜間主コース	経済学部の卒業要件（経済学部履修細則【昼間コース】第10条【夜間主コース】第10条）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
理 学 部	理学部の卒業要件（理学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。ただし、2年次第2学期終了時までには修得した科目は、卒業要件に算入する。
工 学 部	工学部の卒業要件（工学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
農 学 部	農学部の卒業要件（農学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件単位に算入しない。
マッチングプログラム コース	マッチングプログラムコースの卒業要件（マッチングプログラムコース規則）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。

## 英語コース（夜間主コースを除く 平成27年度入学生適用）

コース概要：					
効果的な英語コミュニケーション・スキルを構築する。コース修了時には、研究活動や仕事の実践的な場で使える英語運用能力を習得することを目指す。					
英語コースにおける科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
必修科目 教養教育科目	総合英語1	1	1	1年次	同一科目の繰り返し履修可。
	総合英語2	1	1		
	総合英語3	1	1		
	総合英語4	1	1		
	総合英語5（プレゼンテーション）	1	0～4	2年次	
	総合英語5（リーディング）	1			
	総合英語5（ライティング）	1			
	総合英語5（リスニング）	1			
	スピーキングと討論	0.5・1・2	2～4	1年次～4年次	
	リスニングとスピーキング	0.5・1・2	2～4		
	リーディングと討論	0.5・1・2	2～4		
ライティングと討論	0.5・1・2	2～4			
小計			16		
選択科目 専門基礎科目	セミナーA	1または2	4	3年次～4年次	選択科目の履修時には必修科目16単位を取得していることが望ましい。
	セミナーB	1または2			
	セミナーC	1または2			
	セミナーD	1または2			
	リサーチ・プロジェクトA	1または2	4	3年次～4年次	
	リサーチ・プロジェクトB	1または2			
	リサーチ・プロジェクトC	1または2			
	リサーチ・プロジェクトD	1または2			
小計			8		
合計			24		

履修に際しては、下記の注意事項及び16ページ以降をよく確認すること。

注)

### 【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「英語コミュニケーション1-1～6-2」・「プレ上級英語」・「上級英語」の科目名で開講されます。（次ページ確認）
- 「プレ上級英語」・「上級英語」の履修要件は、次のとおりです。
  - ◎「プレ上級英語」：TOEICスコア400点以上495点以下
  - ◎「上級英語」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）  
：TOEICスコア600点以上
- 「プレ上級英語」・「上級英語」の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 「プレ上級英語」・「上級英語」は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

### 【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1」・「英語特別演習2」の科目名で開講されます。（16ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を取得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

### 【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

※経済学部夜間主コースの平成27年度入学生は、次ページを確認してください。

## 英語コース（夜間主コースのみ 平成27年度入学生適用）

コース概要：							
効果的な英語コミュニケーション・スキルを構築する。コース修了時には、研究活動や仕事の実践的な場で使える英語運用能力を習得することを目指す。							
英語コースにおける科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要		
必修科目	教養教育科目	スピーキングと討論	0.5または1または2	4	1年次～4年次	必修科目は、各授業科目から4単位ずつ履修すること。	
		リスニングとスピーキング	0.5または1または2	4			
		リーディングと討論	0.5または1または2	4			
		ライティングと討論	0.5または1または2	4			
選択科目	専門基礎科目	セミナーA	1または2	4	3年次～4年次	選択科目の履修時には必修科目16単位を取得していることが望ましい。	
		セミナーB	1または2				
		セミナーC	1または2				
		セミナーD	1または2				
			リサーチ・プロジェクトA	1または2	4	3年次～4年次	同一科目の繰り返し履修可。
			リサーチ・プロジェクトB	1または2			
			リサーチ・プロジェクトC	1または2			
			リサーチ・プロジェクトD	1または2			
合計			24				

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

### 【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「プレ上級英語」・「上級英語」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 「プレ上級英語」・「上級英語」の履修要件は、次のとおりです。
  - ◎「プレ上級英語」：TOEICスコア400点以上495点以下
  - ◎「上級英語」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）  
：TOEICスコア600点以上

- 必修科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 必修科目は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

### 【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1」・「英語特別演習2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を取得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

### 【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

平成28年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号

(平成27年度入学生用) 夜間主コース学生も含む

注)「プレ上級英語」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位までの参入となりますので、履修登録時には、注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限	英語コースの授業科目名		
教養教育科目	プレ上級英語	0.5	913436 第1 金・7	Speaking and discussion (スピーキングと討論)		
		0.5	913446 第2 金・7			
		0.5	913438 第3 金・7			
		0.5	913445 第4 金・7			
	上級英語	0.5	913466 第1 月・7			
		0.5	913564 第2 月・7			
		0.5	913489 第3 月・7			
		0.5	913587 第4 月・7			
		0.5	913468 第1 月・7			
		0.5	913567 第2 月・7			
		0.5	913492 第3 月・7			
		0.5	913590 第4 月・7			
		0.5	913517 第1 火・7			
		0.5	913611 第2 火・7			
		0.5	913540 第3 火・7			
		0.5	913633 第4 火・7			
		0.5	913478 第1 木・7			
		0.5	913576 第2 木・7			
		0.5	913505 第3 木・7			
		0.5	913599 第4 木・7			
	0.5	913548 第3 金・7				
	0.5	913641 第4 金・7				
	プレ上級英語	0.5	913432 第1 木・7		Listening with speaking (リスニングとスピーキング)	
		0.5	913440 第2 木・7			
		0.5	913434 第3 木・7			
		0.5	913442 第4 木・7			
		上級英語	0.5			913465 第1 月・7
			0.5			913563 第2 月・7
			0.5			913488 第3 月・7
			0.5			913586 第4 月・7
	1		913477 第1 火・7&8			
	1		913575 第2 火・7&8			
1	913632 第4 火・7&8					
1	913504 第4 木・7&8					
0.5	913531 第1 金・7					
0.5	913625 第2 金・7					
1	913529 第1 金・7&8					
1	913550 第3 金・7&8					
プレ上級英語	0.5	913431 第1 月・7	Reading with discussion (リーディングと討論)			
	0.5	913439 第2 月・7				
	0.5	913433 第3 月・7				
	0.5	913441 第4 月・7				
上級英語	0.5	913518 第1 火・7				
	0.5	913612 第2 火・7				
	0.5	913541 第3 火・7				
	0.5	913634 第4 火・7				
	1	913476 第1 木・7&8				
	0.5	913503 第3 木・7				
	0.5	913597 第4 木・7				
	0.5	913528 第1 金・7				
0.5	913622 第2 金・7					
0.5	913547 第3 金・7					

		0.5	913640	第4	金・7	Writing with discussion (ライティングと討論)
	プレ上級英語	0.5	913435	第1	火・7	
		0.5	913443	第2	火・7	
		0.5	913437	第3	火・7	
		0.5	913444	第4	火・7	
	上級英語	0.5	913467	第1	月・7	
		0.5	913565	第2	月・7	
		0.5	913490	第3	月・7	
		0.5	913588	第4	月・7	
		0.5	913515	第1	火・7	
		0.5	913609	第2	火・7	
		0.5	913538	第3	火・7	
		0.5	913631	第4	火・7	
		0.5	913475	第1	木・7	
		0.5	913573	第2	木・7	
		0.5	913502	第3	木・7	
		0.5	913596	第4	木・7	
		0.5	913530	第1	金・7	
		0.5	913624	第2	金・7	
		0.5	913549	第3	金・7	
		0.5	913642	第4	金・7	
専門 基礎 科目	英語特別 演習1	1	913701	第1	金・7&8	SeminarA(セミナーA)
		1	913703	第2	金・7&8	
		1	913702	第3	月・7&8	SeminarB(セミナーB)
		1	913704	第4	月・7&8	
	英語特別 演習2	1	913705	第1	月・7&8	Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)
		1	913707	第2	月・7&8	
		1	913706	第3	木・7&8	Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)
		1	913708	第4	木・7&8	

\*講義番号が並列された2つのクラスは、原則として2学期連続して履修してください。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

#### 英語コースの履修モデル（平成27年度入学生の場合）

平成27年度	「総合英語1・2・3・4」	4単位取得
	副専攻対象「プレ上級英語」「上級英語」	4単位取得
平成28年度	「総合英語5(プレゼンテーション)(リーディング)(ライティング)(リスニング)」	4単位取得
	副専攻対象「上級英語」	4単位取得
平成29年度	セミナー…	4単位取得
	リサーチ・プロジェクト…	4単位取得

注)「プレ上級英語」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

## 日本語教育コース（平成27年度入学生に適用）

平成27年度入学生の方は、開講科目の変更に伴う授業科目の読替がありますので、次ページの平成27年度入学学部学生 授業科目読替表を必ずご確認ください。

コース概要：					
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。					
日本語教育コースにおける科目区分		授 業 科 目	単 位	修了要件 単 位 数	履修年次 年次
※1 必 修 科 目	専門科目	日本語教材研究	2	8	2～3年次
		日本語学概論 ※2	2		3～4年次
		日本語教授法概論	1		2～3年次
		日本語指導法 ※2	2		3～4年次
		日本語教育演習1 ※3	1		3～4年次
選 択 必 修 科 目	専門科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	2～4年次
		異文化の中の心理と支援	1		2～4年次
		言語と社会	1		2～4年次
		第二言語習得論	1		2～4年次
		日本語教育演習2 ※3	1		3～4年次
		日本語研究と教材作成	1		2～4年次
※4 選 択 科 目	教養教育科目	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		10	1～4年次
		教養教育科目として開設する全ての 外国語科目から ※5			
合 計				24	

注)

1. 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
2. 専門科目「日本語教材研究」を既に履修した者のみが、表中※2の専門科目を履修することができます。
3. 専門科目「日本語指導法」を既に履修した者のみが、表中※3の専門科目を履修することができます。
4. 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、26ページを参照してください。
5. 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。

### 日本語教育コースの履修モデル（平成27年度入学生の場合）

平成27年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
平成28年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語教授法概論、日本語教材研究）	4単位取得 3単位取得
平成29年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語学概論、日本語指導法、日本語教育演習1）	4単位取得 5単位取得

# 対象者：平成27年度入学の学部学生

岡山大学副専攻コース 日本語教育コース

授業科目 読替表

平成27年度入学生 (科目等履修生は含まない)						
入学時にお知らせしている教育課程				読替科目 (平成28年度以降に履修する科目)		
科目 区分	授業科目	単 位	修了要件 単位数	読替科目	単 位	修了要件単位数
必修 科目	日本語教材研究	2	2	日本語教材研究 1	1	1
				日本語教材研究 2	1	1
	日本語学概論	2	2	日本語学概論 1	1	1
				日本語学概論 2	1	1
	日本語教授法概論	1	1	日本語教授法概論	1	1 変更 (読替) なし
	日本語指導法	2	2	日本語指導法 1	1	1
日本語指導法 2				1	1	
日本語教育演習 1	1	1	日本語教育演習 1	1	1 変更 (読替) なし	
選択 必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	日本語教育とマルチメディア	1	この中から 4単位
	異文化の中の心理と支援	1		異文化の中の心理と支援	1	
	言語と社会	1		言語と社会	1	
	第二言語習得論	1		第二言語習得論	1	
	日本語教育演習 2	1		日本語教育演習 2	1	
	日本語研究と教材作成	1		日本語研究と教材作成	1	
選択 科目	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		10	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		この中から 10単位
	教養教育科目として開設 する全ての外国語から		2	教養教育科目として開設 する全ての外国語から		この中から 2単位
合 計			24	合 計		24

平成28年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選択科目	<del>やさしい英語と日本語で学ぶ異文化間コミュニケーション</del> <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911052 1・火・5, 6</del>
	※日本史を見る眼	1	911068 1・火・1, 2
	社会心理学入門1	1	911073 1・火・1, 2
	発達心理学概論	1	911083 1・火・5, 6
	人の移動からみるアジア太平洋	1	911085 1・火・5, 6
	※日本研究入門 <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911140 1・火・7, 8</del>
	異文化理解演習1 (EPOK留学セミナー)	0.5	911129 1・木・7
	<del>社会言語学入門1 (旅する日本語と方言)</del> <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911136 1・木・5, 6</del>
	茶道からみる日本の美と文化史	1	911150 1・木・5, 6
	日本経済と政治の諸問題1	0.5	911153 1・木・6
	実践型教育/学習概論1	1	918033 1・木・7, 8
	※EPOK チューター (留学生交流演習)	0.5	918512 1・木・8
	日本語の歴史と外国資料	1	911043 1・金・1, 2
	※国語教科書を読む	1	911048 1・金・3, 4
	※アジアを知る	1	911053 1・金・1, 2
	ことばと社会：日本語のバリエーション	1	911033 2・月・3, 4
	※大学教養の国語	0.5	911034 2・月・4
	トルコ系民族の言語と文化	1	911039 2・月・3, 4
	日本語の語彙と文法	1	911041 2・月・3, 4
	日本人の戦争観	1	911069 2・月・3, 4
	社会心理学入門2	1	911074 2・火・1, 2
	社会文化学 <戦争の記憶>の継承、日米比較	1	911077 2・火・1, 2
	<del>ハワイと日本：移動する人々のアイデンティティと文化</del> <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911089 2・火・5, 6</del>
	※茶道の作法から学ぶ日本の礼法	1	911151 2・水・5~7
	※留学生支援ボランティア実習	1	918516 2・水・不定期
	教育の現代的課題 (特別支援教育)	1	911007 2・木・1, 2
	※日本語レトリック入門	1	911044 2・木・1, 2
	映像でみる20世紀の日本と世界1	1	911055 2・木・3, 4
	※日本史を見る眼	1	911067 2・木・1, 2
	<del>グローバルリーダーシップスタディーズ1 越境と日本を考える</del> <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911132 2・木・5, 6</del>
	日本経済と政治の諸問題2	0.5	911154 2・木・6
	実践型教育/学習概論2	1	918034 2・木・7, 8
	※EPOK チューター (留学生交流演習)	0.5	918513 2・木・8
	※キャリア形成I コミュニケーション力に磨きをかける	1	918401 2・金・3, 4
	言語の起源と進化論	1	911032 3・月・3, 4
	※大学教養の国語	0.5	911035 3・月・2
	※日本語レトリック入門	1	911049 3・月・5, 6
	人間関係とコミュニケーション	1	911082 3・月・5, 6
	<del>社会言語学入門2 (言葉とジェネレーション、ジェンダ、アイデンティティ)</del> <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911137 3・月・5, 6</del>
	※アジアを知る	1	911054 3・火・1, 2
行動分析学入門1	1	911070 3・火・5, 6	
※日本研究入門 <del>開講中止</del>	<del>1</del>	<del>911141 3・火・7, 8</del>	
※対人関係と臨床心理学：コミュニケーション論入門	1	918511 3・火・3, 4	
※EPOK チューター (留学生交流演習)	0.5	918514 3・水・8	

	※歴史認識論争と学校教育	1	911004	3・木・1, 2
	映画で学ぶWorld Englishes 世界の英語に触れよう 開講中止	<del>1</del>	<del>911051</del>	<del>3・木・5, 6</del>
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1	911056	3・木・3, 4
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	918008	3・木・7, 8
	※冷戦後の国際社会	1	911104	3・金・3, 4
	※大学教養の国語	0.5	911036	4・月・4
	行動分析学入門2	1	911071	4・火・5, 6
	言語とパワー 開講中止	<del>1</del>	<del>911135</del>	<del>4・火・7, 8</del>
	※対人関係と臨床心理学：コミュニケーション論入門	1	918503	4・火・1, 2
	※茶道の作法から学ぶ日本的礼法	1	911152	4・水・5~7
	※留学生支援ボランティア実習	1	918517	4・水・不定期
	※歴史認識論争と学校教育	1	911008	4・木・1, 2
	※国語教科書を読む	1	911047	4・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界ー戦後復興から高度成長期までー	1	911057	4・木・3, 4
	文化人類学への招待	1	911080	4・木・3, 4
	太平洋諸島地域の社会と文化	1	911138	4・木・5, 6
	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	918009	4・木・7, 8
	※キャリア形成I コミュニケーション力に磨きをかける	1	918402	4・木・3, 4
	※EPOK チューター（留学生交流演習）	0.5	918515	4・木・8
	※冷戦後の国際社会	1	911105	4・金・3, 4

必修 科目	専門 科目	日本語教授法概論	1	911012	3・火・3, 4
		日本語教材研究1	1	911019	3・金・3, 4
		日本語教材研究2	1	911020	4・金・3, 4
選択 必修 科目	専門 科目	言語と社会	1	911010	1・火・5, 6
		異文化の中の心理と支援	1	911009	3・火・5, 6
		第二言語習得論	1	911011	3・木・3, 4
		日本語教育とマルチメディア	1	911015	4・火・5, 6
		日本語教育演習2	1	911016	4・火・3, 4

平成26年度以前入学生読替科目						
必修 科目	専門 科目	日本語初級指導法	日本語初級指導法A	1	911021	1・火・5, 6
			日本語初級指導法B	1	911022	2・火・5, 6
		日本語技能別指導法	日本語技能別指導法A	1	911013	1・金・3, 4
			日本語技能別指導法B	1	911014	2・金・3, 4
		日本語教育演習	日本語教育演習A	1	911017	1・月・3, 4
			日本語教育演習B	1	911018	2・月・3, 4

- 注)
- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
  - 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。
  - 対象科目は上記に掲げているものに限ります。同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。
  - 平成27年度以前入学生の方は、重複履修不可科目にご注意ください。次ページの「平成27年度以前入学生 重複履修不可科目一覧」を必ずご確認ください。

岡山大学副専攻コース 日本語教育コース  
平成27年度以前入学生 重複履修不可科目一覧

岡山大学副専攻コース（日本語教育コース）を履修している、又は履修を予定している方で、平成27年度以前入学者の方は、以下の重複履修不可科目にご注意ください。

平成27年度以前に項目⑦のH27年度以前開講科目を修得している場合、項目⑥のH28年度開講科目は履修できません。科目名が異なっても重複履修とみなします。

①講義番号	②開講学期	③曜日	④時限	⑤単位数	⑥授業科目名 (平成28年度開講科目名)	⑦H27年度以前開講科目名 (当該科目修得者は履修不可)
911017	1	月曜	3・4	1	日本語教育演習A	日本語教育演習
911021	1	火曜	5・6	1	日本語初級指導法A	日本語初級指導法
911073	1	火曜	1・2	1	社会心理学入門1	社会心理学入門
911085	1	火曜	5・6	1	人の移動からみるアジア太平洋	トランスナショナルな人の移動と多文化共生
<del>911136</del>	<del>1</del>	<del>木曜</del>	<del>5・6</del>	<del>1</del>	<del>社会言語学入門1(旅する日本語と方言)</del>	<del>社会言語学への招待ー日本の社会とことばー</del>
911150	1	木曜	5・6	1	茶道からみる日本の美と文化史	日本文化と礼法I, 日本文化と礼法II
918033	1	木曜	7・8	1	実践型教育/学習概論1	教育実践入門
911013	1	金曜	3・4	1	日本語技能別指導法A	日本語技能別指導法
911018	2	月曜	3・4	1	日本語教育演習B	日本語教育演習
911022	2	火曜	5・6	1	日本語初級指導法B	日本語初級指導法
911074	2	火曜	1・2	1	社会心理学入門2	社会心理学入門
<del>911089</del>	<del>2</del>	<del>火曜</del>	<del>5・6</del>	<del>1</del>	<del>ハワイと日本：移動する人々のアイデンティティと文化</del>	<del>ハワイと日本ー移動する人々のアイデンティティと文化</del>
911151	2	水曜	5・6・7	1	茶道の作法から学ぶ日本の礼法	茶道から学ぶ日本の美学
911055	2	木曜	3・4	1	映像でみる20世紀の日本と世界1	映像でみる20世紀の日本と世界(1)(2)
918034	2	木曜	7・8	1	実践型教育/学習概論2	教育実践入門
911014	2	金曜	3・4	1	日本語技能別指導法B	日本語技能別指導法
918401	2	金曜	3・4	1	キャリア形成I コミュニケーション力に磨きをかける	キャリア形成<基礎講座>II コミュニケーション力に磨きをかける
911032	3	月曜	3・4	1	言語の起源と進化論	言語の分析ー世界の言語を見てみようー
<del>911137</del>	<del>3</del>	<del>月曜</del>	<del>5・6</del>	<del>1</del>	<del>社会言語学入門2(言葉とジェネレーション、ジェンダー、アイデンティティ)</del>	<del>社会言語学への招待ー日本の社会とことばー</del>
911070	3	火曜	5・6	1	行動分析学入門1	行動分析学入門
918511	3	火曜	3・4	1	対人関係と臨床心理学：コミュニケーション論入門	対人関係とコミュニケーション
911056	3	木曜	3・4	1	映像でみる20世紀の日本と世界2	映像でみる20世紀の日本と世界(1)(2)
918008	3	木曜	7・8	1	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	創造的討論技術を学ぶ
911084	3	木曜	7・8	1	グローバル化のなかの日本社会と文化：多文化共生の視点から	グローバル化のなかの日本文化と社会
911071	4	火曜	5・6	1	行動分析学入門2	行動分析学入門
918503	4	火曜	1・2	1	対人関係と臨床心理学：コミュニケーション論入門	対人関係とコミュニケーション
911152	4	水曜	5・6・7	1	茶道の作法から学ぶ日本の礼法	茶道から学ぶ日本の美学
911057	4	木曜	3・4	1	映像でみる20世紀の日本と世界ー戦後復興から高度成長期までー	映像でみる20世紀の日本と世界(1)(2)
918009	4	木曜	7・8	1	創造的討論技術を学ぶ テラックス	創造的討論技術を学ぶ
911134	4	木曜	5・6	1	グローバル文化交流論：日本とアジア	共通善教育多言語セミナー1・2
918402	4	木曜	3・4	1	キャリア形成I コミュニケーション力に磨きをかける	キャリア形成<基礎講座>II コミュニケーション力に磨きをかける

## ドイツ語コース（平成27年度以前入学生に適用）

### コース概要：

ドイツ語を話し・聞く力，読む力，書く力それぞれについて特化された授業が用意されている。各受講者は，それぞれの目標にあわせて履修内容を組み立てることができる。バラエティに富む授業を履修することによって，ドイツ語運用能力の向上が可能となる。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要		
必修科目	教養教育科目	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	2	2	1年	<p>○ 以下の科目は必ずセットで受講すること。 また，必ず初級Ⅰ－1→Ⅰ－2→Ⅱ－1→Ⅱ－2の順で履修すること。</p> <p>{ ドイツ語初級Ⅰ－1（文法） ドイツ語初級Ⅰ－2（文法） ドイツ語初級Ⅰ－1（読本） ドイツ語初級Ⅰ－2（読本） ドイツ語初級Ⅱ－1（文法） ドイツ語初級Ⅱ－2（文法） ドイツ語初級Ⅱ－1（読本） ドイツ語初級Ⅱ－2（読本）</p> <p>○ ドイツ語中級は，2単位まで，本コースの修了要件単位数に算入する。</p> <p>←平成27年度以前開講科目 ←平成28年度開講科目</p> <p>○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ（文法／読本）は，ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の修得単位をもって，本コースの修了要件単位とすることも可能。</p>	
		又は					
		ドイツ語初級Ⅰ－1（文法）	1				1年
		ドイツ語初級Ⅰ－2（文法）	1		1年		
		ドイツ語初級Ⅰ（読本）	2	2	1年		
		又は					
	ドイツ語初級Ⅰ－1（読本）	1	1年				
	ドイツ語初級Ⅰ－2（読本）	1		1年			
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	2	2	1年			
	又は						
	ドイツ語初級Ⅱ－1（文法）	1		1年			
	ドイツ語初級Ⅱ－2（文法）	1		1年			
ドイツ語初級Ⅱ（読本）	2	2	1年				
又は							
ドイツ語初級Ⅱ－1（読本）	1		1年				
ドイツ語初級Ⅱ－2（読本）	1		1年				
選択科目	専門科目	ドイツ語コミュニケーション1	2	0～4	1年		
		ドイツ語コミュニケーション2	2		1年		
	教養教育科目	ドイツ語中級	2	8～10	2年		
		ドイツ語中級	1		2年		
	専門科目	ドイツ語読解法	2		2年		
		ドイツ語表現法1	2		2年		
		ドイツ語表現法2	2		2年		
		時事ドイツ語	2		2年		
		ドイツ語コミュニケーション3	2		2年		
		ドイツ語コミュニケーション4	2		2年		
ドイツ語上級		2	4～6		3年		
ドイツ語翻訳法	2	3年					
合計			24				

- 注) 1 文学部学生は，このコースは履修できません。文学部副専攻の「ドイツ語コース」を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は，希望科目の初回の授業に出席して，授業担当教員へ「ドイツ語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については，教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については，教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

## フランス語コース(平成27年度以前入学生に適用)

コース概要：

受講者のコミュニケーションの道具としてのフランス語運用能力の向上を主眼としたカリキュラムである。フランス語のコミュニケーション能力(話し、聞き、読み、書く力)育成に特化した授業が用意されている。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
必修科目	教養教育科目	フランス語初級Ⅰ(総合)	4	4	1年	○ 以下の科目は必ずセットで受講すること。 また、必ず初級Ⅰ→Ⅰ-2→Ⅱ-1→Ⅱ-2の順で履修すること。 フランス語初級Ⅰ-1(総合) フランス語初級Ⅰ-2(総合) フランス語初級Ⅱ-1(総合) フランス語初級Ⅱ-2(総合)	
		又は					
		フランス語初級Ⅰ-1(総合)	2		1年		
		フランス語初級Ⅰ-2(総合)	2	1年			
	教養教育科目	フランス語初級Ⅱ(総合)	4	4	1年		
		又は					
フランス語初級Ⅱ-1(総合)		2	1年				
	フランス語初級Ⅱ-2(総合)	2	1年				
専門科目	フランス語コミュニケーション1	2	2	1年			
	フランス語コミュニケーション2	2	2	1年			
選択科目	教養教育科目	フランス語中級	2	12	2年	←平成27年度以前開講科目 ←平成28年度開講科目 ○ フランス語初級Ⅰ,Ⅱ(総合)は、フランス語初級Ⅰ,Ⅱ(文法/読本)の修得単位をもって、本コースの修了要件単位とすることも可能。 ○ 必修科目のフランス語コミュニケーションについては、1→2の順で履修する必要がある。	
		フランス語中級	1		2年		
	専門科目	フランス語コミュニケーション3	2		2年		
		フランス語コミュニケーション4	2		2年		
		フランス語作文1	2		2年		
		フランス語作文2	2		2年		
		フランス文化総合演習1	2		2年		
		フランス文化総合演習2	2		2年		
		フランス語コミュニケーション5	2		3年		
		フランス語コミュニケーション6	2		3年		
		フランス語作文3	2		3年		
		フランス文化総合演習3	2		3年		
合計			24				

- 注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。文学部副専攻の「フランス語コース」を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は、希望科目の初回の授業に出席して、授業担当教員へ「フランス語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については、教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については、教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

## 中国語コース（平成26，27年度入学生に適用）

### コース概要：

中国語を話し・聞く力，読む力，書く力それぞれについて特化された授業が用意されている。各受講者は，それぞれの目標にあわせて履修内容を組み立てることができる。バラエティに富む授業を履修することによって，中国語運用能力の向上が可能となる。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要				
必修科目	教養教育科目	中国語初級Ⅰ（文法） 又は 中国語初級Ⅰ－1（文法） 中国語初級Ⅰ－2（文法）	2 1 1	2	1年 1年 1年	○ 以下の科目は必ずセットで受講すること。 〔中国語初級Ⅰ－1（文法） 中国語初級Ⅰ－2（文法） 中国語初級Ⅰ－1（読本） 中国語初級Ⅰ－2（読本） 中国語初級Ⅱ－1（文法） 中国語初級Ⅱ－2（文法） 中国語初級Ⅱ－1（読本） 中国語初級Ⅱ－2（読本）  ○ 教養教育科目の中国語初級Ⅰ・Ⅱの履修は，以下の科目の履修でも可。 「中国語初級Ⅰ－1（総合）」 「中国語初級Ⅰ－2（総合）」 「中国語初級Ⅱ－1（総合）」 「中国語初級Ⅱ－2（総合）」 ←平成27年度以前開講科目 ←平成28年度開講科目 ○ 中国語中級は，2単位まで，本コースの修了要件単位に算入する。			
		中国語初級Ⅰ（読本） 又は 中国語初級Ⅰ－1（読本） 中国語初級Ⅰ－2（読本）	2 1 1		2		1年 1年 1年		
		中国語初級Ⅱ（文法） 又は 中国語初級Ⅱ－1（文法） 中国語初級Ⅱ－2（文法）	2 1 1				2	1年 1年 1年	
		中国語初級Ⅱ（読本） 又は 中国語初級Ⅱ－1（読本） 中国語初級Ⅱ－2（読本）	2 1 1	2				1年 1年 1年	
		選択科目	専門科目		中国語コミュニケーション1			2	0～4
					中国語コミュニケーション2		2	1年	
			教養教育科目	中国語中級	2		8～10	2年	
				中国語中級	1			2年	
			専門科目	中国語総合演習1	2			2年	
				中国語総合演習2	2			2年	
				中国語総合演習3	2			2年	
				中国語総合演習4	2			2年	
				中国語コミュニケーション3	2			2年	
				中国語コミュニケーション4	2			2年	
中国語上級1	2			4～6	3年				
中国語上級2	2				3年				
中国語コミュニケーション5	2		3年						
中国語コミュニケーション6	2		3年						
合計			24						

- 注) 1 文学部学生は，このコースは履修できません。文学部副専攻の「中国語コース」を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は，希望科目の初回の授業に出席して，授業担当教員へ「中国語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については，教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については，教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。
- 5 本コースは，平成27年度入学生の履修を以て廃止されます。平成28年度以降入学生は履修できません。

**哲学芸術学コース（平成19年度以降平成27年度以前入学生に適用）**

コース概要：

哲学的な思考の基礎や、芸術作品の考察方法の基礎を身につけることによって、生涯学習の基盤をつくる。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
選 択 科 目	専門科目	哲学概説1	2	8	2年次～		
		哲学概説2	2		2年次～		
		倫理学概説1	2		2年次～		
		倫理学概説2	2		2年次～		
		芸術学概説1	2		2年次～		
		芸術学概説2	2		2年次～		
		芸術表象論概説1	2		2年次～		
		芸術表象論概説2	2		2年次～		
		美術史概説1	2		2年次～		
		美術史概説2	2		2年次～		
		思想史概説1	2		2年次～		
		思想史概説2	2		2年次～		
			哲学講義	2	8		2年次～
			倫理学講義	2			2年次～
			美学講義	2			2年次～
			芸術学講義	2			2年次～
			芸術表象論講義	2			2年次～
			日本美術史講義	2			2年次～
			西洋美術史講義	2			2年次～
			思想史講義	2			2年次～
			思想史講義	1	2年次～		
			哲学演習	2	8		2年次～
			倫理学演習	2			2年次～
			美学演習	2			2年次～
			芸術学演習	2			2年次～
			芸術表象論演習	2			2年次～
			日本美術史演習	2			2年次～
			西洋美術史演習	2			2年次～
			思想史演習	2			2年次～
	合 計				24		

←平成27年度以前開講科目

←平成28年度開講科目

注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。

2 コースの履修開始時期は2年次第1学期からです。

3 概説科目は2年次～3年次に履修することが望ましい。

4 演習科目の履修に必要な外国語（ドイツ語、フランス語等）をあらかじめ修得しておくこと。

5 各授業科目の授業時間帯については、文学部の授業時間割で確認してください。

6 本コースは、平成27年度入学生の履修を以て廃止されます。平成28年度以降入学生は履修できません。

## 行動科学コース（平成27年度以前入学生に適用）

コース概要：

行動科学的研究の基礎を学習することによって、人間の心や行動、社会や文化、それらと自然環境との関係や地域性などについての実証的な研究方法を学ぶ。

科目区分		授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次	摘 要
選 択 科 目	専 門 科 目	心理学概説1	2	10	2年次～	
		心理学概説2	2			
		人文地理学概説	2			
		自然地理学概説	2			
		社会学概説1	2			
		社会学概説2	2			
		文化人類学概説1	2			
		文化人類学概説2	2			
		社会文化学概説	2			
		心理学講義	2	8	2年次～	
		地理学講義	2			
		地誌学講義	2			
		社会学講義	2			
		文化人類学講義	2			
		社会文化学講義	2			
	心理学演習	2	8	2年次～		
	地理学演習	2				
	社会学演習	2				
	文化人類学演習	2				
	社会文化学演習	2				
合 計				26		

注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。

- 2 本コースの受入定員は5人です。
- 3 コースの履修開始時期は2年次第1学期からです。
- 4 「講義」「演習」の各科目を受講する場合には、同名の「概説」科目を修得していることが望ましい。
- 5 各授業科目の授業時間帯については、文学部の授業時間割で確認してください。
- 6 本コースは、平成27年度入学生の履修を以て廃止されます。平成28年度以降入学生は履修できません。

## 教育科学コース（平成27年度以前入学生に適用）

コース概要：

人間形成，主として学校教育における人間形成にかかわる諸問題を教育哲学，教育社会学，教育心理学，発達心理学など，多様な視点から学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年次	期	
必修 科目	学校と教育の歴史	2	4	1年次～		
	学校教育心理学	2		1年次～		
選 択 科 目	教育哲学	2	4	2年次～		開講予定なし 開講予定なし
	日本教育史	2		2年次～		
	西洋教育史	2		2年次～		
	教育の制度と社会	2	6	2年次～		
	教育社会学	2		2年次～		
	教育法制論	2		2年次～		
	生涯学習社会論	2		2年次～		
	教育経営学	2		2年次～		
	国際理解教育概説	2		2年次～		
	教育の方法と技術	2		2年次～		
	現代教育方法学	2	2年次～			
	人権・同和教育	2	1年次～			
	発達心理学A	2	4	1年次～		
	発達心理学B	2		1年次～		
	学習意欲向上の原理と方法	2		2年次～		
教育評価・測定	2	2年次～				
発達障害教育概論	2	6	3年次～		開講未定	
学習心理学	2		2年次～			
生徒指導論ⅡB	2		2年次～			
人格心理学	2		2年次～			
教育相談論A	2		3年次～			
教育相談論B	2		3年次～			
進路指導論	2		3年次～			
集団心理学	2		2年次～			
教育臨床心理学	2		2年次～			
合 計			24			

注) 1 教育学部学生は，このコースは履修できません。

2 最初に，学校と教育の歴史及び学校教育心理学を履修することが望ましい。

## 小学校CSTコース（平成26・27年度入学生に適用）

理学部・工学部・農学部の学生のうち、岡山大学CST養成プログラムコースに所属する学生

コース概要：							
理数教育において中核的な役割を担う小学校教員（コア・サイエンス・ティーチャー）に必要な「教科の指導法」及び「教科に関する科目」を学ぶ。							
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修 科目	専門科目	初等理科授業研究	2	4	2年次～		
		初等理科内容研究	2		2年次～		
選 択 科 目	初等国語科授業研究（書写を含む） 初等社会科授業研究 算数科授業研究A 算数科授業研究B 生活科授業研究A 生活科授業研究B 初等家庭科授業研究A 初等家庭科授業研究B	2	6	2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
		2		3年次～			
	初等音楽科授業研究 図画工作科授業研究 初等体育科授業研究	2	4	2年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
	初等理科指導法開発 初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む） 算数科内容研究 初等社会科内容研究 生活科内容研究A 生活科内容研究B 初等音楽科内容研究 図画工作科内容研究 初等体育科内容研究 初等家庭科内容研究	2	10	3年次～			
		2		2年次～			
		2		2年次～			
2		2年次～					
2		2年次～					
2		2年次～					
2		2年次～					
2		2年次～					
2		2年次～					
2		2年次～					
合 計			24				

注) 1 副専攻コース小学校CSTコースは、「岡山大学CST養成プログラム」の小学校CST養成コースに選抜された学生を対象として、当該養成コースの教育プログラムのうち、学部において履修する小学校教員に必要な「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」を、副専攻コースと位置付けて開設するものです。

したがって、「岡山大学CST養成プログラム」の小学校CST養成コースに所属していない学生の履修はできませんので、注意してください。

現代市民法専攻コース（平成26年度以降入学生に適用）

コース概要：

社会生活を営み職業人として活動する上で必要な視野の広さと法学・政治学的素養を身につけるため、主として民法・刑法法などを中心に学ぶ。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履修年次	摘 要	
				年次・期		
選 択 科 目	専門科目	憲法（総論・統治）a	1	24	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。 なお、履修に際しては、法学部の学生便覧・シラバス・ <u>法政基礎演習共通テキスト</u> に掲載される専門科目配当年次一覧と各分野の「学び方」を参照して、そこに示された順番で各科目を履修するようにしてください。  また、平成28年度以降に開講される授業科目を履修する際は、別途示される履修可否一覧を参照し、重複履修に注意して履修してください。
	憲法（総論・統治）b	1				
	憲法（人権）a	1				
	憲法（人権）b	1				
	憲法（人権）c	1				
	行政法総論Ⅰ	1				
	行政法総論Ⅱa	1				
	行政法総論Ⅱb	1				
	労働団体会法	1				
	雇用関係法a	1				
	雇用関係法b	1				
	雇用関係法c	1				
	民法総則a	1				
	民法総則b	1				
	物権法	1				
	担保物権法	1				
	債権総論a	1				
	債権総論b	1				
	契約法	1				
	不法行為法	1				
	親族法	1				
	相続法	1				
	不動産登記法a	1				
	不動産登記法b	1				
	民事手続法概論	1				
	民事訴訟法a	1				
	民事訴訟法b	1				
	会社法a	1				
	会社法b	1				
	会社法c	1				
	企業取引法a	1				
	企業取引法b	1				
	企業取引法c	1				
	刑法総論a	1				
	刑法総論b	1				
	刑法総論c	1				
	刑法各論a	1				
	刑法各論b	1				
	刑法各論c	1				
	刑事手続法概論	1				
	刑事訴訟法a	1				
	刑事訴訟法b	1				
	国際取引法	1				
	国際家族法a	1				
	国際家族法b	1				
アジア法a	1					
アジア法b	1					
中国法	1					

	憲法Ⅰ	2			
	民法総則・物権総論	4			
	憲法ⅡA	2			
	憲法ⅡB	2			
	行政法Ⅱ	2			
	契約法	2			
	不法行為法	2			
	債権総論・担保物権法	4			
	刑法総論Ⅱ	2			
	会社法Ⅰ	2			
	会社法Ⅱ	2			
	民事訴訟法	4			
	企業法総論	2			
	企業取引法	2			
	刑法各論Ⅰ	2		平成27年度まで開講	
	刑法各論Ⅱ	2			
	刑事訴訟法Ⅰ	2			
	刑事訴訟法Ⅱ	2			
	親族法	2			
	相続法	2			
	不動産登記法	2			
	国際取引法	2			
	国際家族法	2			
	労働団体系法	2			
	雇用関係法	2			
	アジア法	2			
	中国法	2			
	演習Ⅰb	2			
	合 計		24		

- 注) 1 法学部学生は、このコースは履修できません。
- 2 本コースの受入定員は5名です。
- 3 科目名は毎年追加・変更の可能性があります。
- 4 科目名の前に\*のついている科目は、2年間のうちに一度は開講される科目です。
- 5 履修対象科目は、専門科目のみとします。

公共政策専攻コース（平成26年度以降入学生に適用）

コース概要：

社会生活を営み職業人として活動する上で必要な視野の広さと法学・政治学的素養を身につけるため、主として公法・政治学などを中心に学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
				年次・期	
選択科目	憲法（総論・統治）a	1	24	2年次第3学期以降	<p>全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。</p> <p>なお、履修に際しては、法学部の学生便覧・シラバス・<u>法政基礎演習共通テキスト</u>に掲載される専門科目配当年次一覧と各分野の「学び方」を参照して、そこに示された順番で各科目を履修するようにしてください。</p> <p>また、平成28年度以降に開講される授業科目を履修する際は、別途示される履修可否一覧を参照し、重複履修に注意して履修してください。</p>
	憲法（総論・統治）b	1			
	憲法（人権）a	1			
	憲法（人権）b	1			
	憲法（人権）c	1			
	行政法総論Ⅰ	1			
	行政法総論Ⅱa	1			
	行政法総論Ⅱb	1			
	行政救済法Ⅰa	1			
	行政救済法Ⅰb	1			
	行政救済法Ⅱ	1			
	税法a	1			
	税法b	1			
	税法c	1			
	* 公共政策論a	1			
	* 公共政策論b	1			
	民法総則a	1			
	民法総則b	1			
	物権法	1			
	国際法総論a	1			
	国際法総論b	1			
	国際法総論c	1			
	国際法各論a	1			
	国際法各論b	1			
	国際法各論c	1			
	国連法	1			
	国際機構法	1			
	法の歴史と思想	1			
	法と正義a	1			
	法と正義b	1			
	法哲学	1			
	法史学a	1			
	法史学b	1			
	政治社会学	1			
	国際政治論a	1			
	国際政治論b	1			
	政治思想史a	1			
	政治思想史b	1			
	比較政治a	1			
	比較政治b	1			
* 政治過程論Ⅰ	1				
* 政治過程論Ⅱ	1				
行政学a	1				
行政学b	1				
憲法Ⅰ	2				
民法総則・物権総論	4				
憲法ⅡA	2				
憲法ⅡB	2				

	行政法Ⅱ	2			
	国際法概論Ⅰ	2			
	国際法概論Ⅱ	2			
	公共政策論	2			
	比較憲法	2			
	行政法Ⅲ	2			
	行政法Ⅳ	2			
	国際法各論Ⅰ	2			
	国際法各論Ⅱ	2			
	情報政策と法	2		平成27年度まで開講	
	情報社会と法	2			
	国連法	2			
	国際機構法	2			
	法と正義	2			
	法哲学	2			
	国際政治論	2			
	法史学Ⅰ	2			
	法史学Ⅱ	2			
	現代政治分析Ⅱ	2			
	西洋政治思想史	2			
	比較政治Ⅰ	2			
	比較政治Ⅱ	2			
	政治社会学	2			
	行政学	2			
	税法Ⅰ	2			
	税法Ⅱ	2			
	演習Ⅰb	2			
	合 計		24		

- 注) 1 法学部学生は、このコースは履修できません。  
2 本コースの受入定員は5名です。  
3 科目名は毎年追加・変更の可能性があります。  
4 科目名の前に\*のついている科目は、2年間のうちに一度は開講される科目です。  
5 履修対象科目は、専門科目のみとします。

## 数学コース（平成27年度入学生に適用）

コース概要：

数学の基礎及び応用について体系的に学ぶことにより，論理的思考の下地をつくり，あわせて数理科学への理解を深める。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘 要	
				年次・期		
必修科目	専門基礎科目	微分積分学Ⅰ	2	12	2年次第3学期以降	全科目とも，2年次第3学期以降に履修すること。 また，履修に際しては理学部専門教育科目のシラバスを参照すること。
		微分積分学Ⅱ	2			
		線形代数学Ⅰ	2			
		線形代数学Ⅱ	2			
選択科目	専門科目	数学演義Ⅰ	2			
		数学演義Ⅱ	2			
	数学演義Ⅲ	2	12			
	微分積分学Ⅲ	2				
	微分積分学Ⅲ演習	2				
	代数学基礎A	2				
	代数学基礎A演習	2				
	代数学基礎B	2				
	代数学基礎B演習	2				
	幾何学基礎A	2				
	幾何学基礎A演習	2				
	幾何学基礎B	2				
	幾何学基礎B演習	2				
	幾何学Ⅰ	2				
	幾何学演習	3				
	解析学基礎A	2				
	解析学基礎B	2				
	解析学基礎演習	2				
	離散数学Ⅰ	2				
	確率・統計	2				
合 計			24			

- 注) 1 理学部学生は，このコースは履修できません。  
2 受講希望者は理学部数学科の教務担当委員と相談すること。

**物理学基盤コース（平成27年度入学生に適用）**

コース概要：

物理学の基本的な原理・法則について学び、自然科学に関わる問題を数学的手法やコンピュータ等を用いて解決する力を身につける。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
				年次・期		
必修科目	専門基礎科目	基礎微分積分学Ⅰ	2	12	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部専門教育科目のシラバスを参照すること。
		基礎微分積分学Ⅱ	2			
		現代数学要論Ⅰ	2			
		現代数学要論Ⅱ	2			
		基礎物理学Ⅰ	2			
		基礎物理学Ⅱ	2			
選択科目	専門科目	物理数学1	2	12		先ず、専門基礎科目を修得することが望ましいが、本コース開講学科（物理学科）の教務担当委員と相談すること。
		物理数学2	2			
		物理数学A	1			
		物理数学F	1			
		コンピュータ物理学1	2			
		コンピュータ物理学2	2			
		電磁気学Ⅰ	2			
		相対論入門	2			
合計			24			

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。  
2 受講希望者は理学部物理学科の教務担当委員と相談すること。



**生物科学コース (平成27年度入学生に適用)**

コース概要：

生命現象の基本原理と多様性について、遺伝子、タンパク質、細胞、組織、個体の各レベルから総合的に学習する。

科目区分		授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次 年 次 ・ 期	摘 要
必修 科目	専門科目	分子生物学Ⅰ	2	4	2年次第3学期 以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部専門教育科目のシラバスを参照し、予め本コース開講学科(生物学科)の教務担当委員と相談すること。
		植物生理学	2			
選 択 科 目	専門科目	細胞生物学Ⅰ	2	20		
		細胞生物学Ⅱ	2			
		生化学Ⅰ	2			
		生化学Ⅱ	2			
		遺伝学Ⅰ	2			
		遺伝学Ⅱ	2			
		分子遺伝学Ⅰ	2			
		分子遺伝学Ⅱ	2			
		発生生物学Ⅰ	2			
		植物細胞生理学	2			
		動物行動学	2			
生体制御学Ⅰ	2					
神経生物学Ⅰ	2					
系統分類学	2					
合 計				24		

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。  
2 受講希望者は履修計画について理学部生物学科の教務担当委員と相談すること。

**地球科学コース（平成27年度入学生に適用）**

コース概要：

人類の生活基盤である、かけがえのない「地球」について、多様な時間スケール・空間スケールの概念をもって、総合的な理解を深める。

科目区分		授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履修年次	摘 要
					年次・期	
必修 科目	専門基礎科目	基礎地球科学A	2	4	2年次第3学期 以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部専門教育科目のシラバスを参照すること。
		基礎地球科学B	2			
選 択 科 目	専門基礎科目	基礎物理学Ⅰ	2	4	2年次第3学期 以降	先ず、専門基礎科目を修得することが望ましいが、本コース開講学科（地球科学科）の教務担当委員と相談すること。
		基礎物理学Ⅱ	2			
		一般化学	2			
		基礎有機化学	2			
		基礎生物学Ⅰ	2			
		基礎生物学Ⅱ	2			
	専門科目	鉱物結晶学	2	16		
		基礎岩石学	2			
		地球発達史	2			
		固体地球物理学	2			
		宇宙と地球の化学	2			
		地球化学熱力学	2			
		大気物質循環論	2			
		地球惑星内部物理学	2			
		地球惑星システム科学	2			
		変成論	2			
		地球物質反応論	2			
		地球内部物性論	2			
		地震波動論	2			
		大気物理学	2			
火成論	2					
地球変動論	2					
地形学	2					
地球惑星物理化学	2					
生物地球化学	2					
無機地球化学	2					
沿岸の地球科学	2					
微量元素・同位体地球化学	2					
地球統計学	2					
地球流体力学	2					
合 計				24		

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。  
2 受講希望者は理学部地球科学科の教務担当委員と相談すること。

**国際保健コース（平成27年度以降入学生に適用）**

コース概要：

国際的視野で健康と環境の相互関係を学び、国際保健が果たす役割と国際協力の在り方を学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要		
				年次	期			
必修科目	専門基礎科目	保健科学入門	1	10	3年次	第1学期	全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。  先ず、専門基礎科目を履修しておくことが望ましい。	
		ヘルスプロモーション入門	1		2年次	第3学期		
		国際保健システム論	2		4年次	冬季集中		
		国際環境・衛生論	2		3年次	第3学期		
		地域保健環境論	2		3年次	第3学期		
		保健統計学	2		3年次	第4学期		
選択科目	専門基礎科目	栄養・代謝学	2	A	3年次	第2学期	しい。	
		形態・機能学 I	2		3年次	第1学期		
		感染免疫学	2		3年次	第3学期		
		基礎遺伝子学	2		2年次	第3・4学期		
		基礎病態学	2		2年次	第3・4学期		
		臨床薬理学	2		3年次	第2学期		
	専門基礎科目	保健行政論	2	B	3年次	夏季集中		
		社会福祉論	2		3年次	第3・4学期		
	専門科目	専門科目	医療経済学	2	C	4年次		第3学期
			災害危機管理論	2		4年次		第3学期
ボランティア実践			2	4年次		第4学期		
救命救急医療			2	4年次		第3学期		
							AとBとCを合わせて、14単位を修得のこと。組み合わせは自由です。	
合計			24					

### 放射線安全管理・応用学コース（平成27年度以降入学者に適用）

コース概要：

放射線及び放射性同位元素の利用は、がんの治療、医療用具の滅菌、工業製品の透過検査、厚さの測定、物質の定性・定量、あるいはトレーサ実験等々多岐にわたっている。しかし、放射性同位元素及び放射線発生装置は、その取扱によっては、放射線障害を発生する恐れがある。そこで、放射線障害防止法に基づき、放射性同位元素あるいは放射線発生装置を取扱う場合の、放射線障害の防止に関する事項について学習し、第一種及び第二種放射線取扱主任者試験合格レベルの知識の習得を目指す。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修	専門基礎科目	保健行政論	2	2	4年次	第4学期	
修 科 目	専門科目	放射線物理学Ⅰ	1	10	3年次	第2学期	物理学的な基礎を必要とします。
		放射線物理学Ⅱ	1		3年次	第3学期	
		放射線物理学Ⅲ	1		3年次	第4学期	
		放射線計測学	1		3年次	第2学期	
		放射線治療物理学	1		4年次	第4学期	
		放射化学Ⅰ	1		3年次	第1学期	
		放射化学Ⅱ	1		4年次	第3学期	
		放射線生物学	1		4年次	第2学期	
		放射線安全管理学	1		2年次	第4学期	
		放射線衛生学	1		3年次	第1学期	
選 択 科 目	専門基礎科目	形態・機能学Ⅰ	2	12	3年次	第1学期	
		形態・機能学Ⅱ	1		3年次	第2学期	
		情報数理学Ⅰ	2		4年次	第1学期	
	専門科目	放射線機器工学Ⅰ	1		2年次	第3学期	
		放射線機器工学Ⅱ	1		2年次	第4学期	
		放射線機器工学Ⅲ	1		3年次	第2学期	
		基礎電気工学	2		3年次	第3/4学期	
		電気電子工学	2		4年次	第1学期	
		放射線医学概論	1		3年次	第3学期	
		放射線腫瘍学	1		4年次	第3学期	
		核医学検査技術学Ⅰ	1		3年次	第2学期	
		核医学検査技術学Ⅱ	1		3年次	第3学期	
		医療安全管理学	1		4年次	第3学期	
核医学検査技術学特講	1	4年次	第4学期				
合 計			24				

**システムマネジメントコース (平成27年度入学生に適用)**

コース概要：							
生産システムを定量的に最適化し、安全かつ効率的な運用の方法を学ぶと共に、関与する人間の特性と関連づけて計画・管理する方法について学ぶ。							
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修科目	教養教育科目	機械システム系概論	1	0.5 または1	2年次～	1学期	全科目とも、2年次以降に履修すること。 なお、教養教育科目をできるだけ先に履修すること。
		機械システム系概論	0.5		2年次～	1学期	
	専門科目	知能ロボット運用論	1	8	3年次～	4学期	
		システム信頼性工学	2		3年次～	1学期	
		生産システム学	2		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅠ	1		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅡ	1		3年次～	3学期	
オペレーションズ・リサーチⅢ	1	3年次～	4学期				
選択科目	教養教育科目	電気通信系概論	1	0.5 または1	2年次～	1学期	←所属学部と同科目をもって替える。 ←所属学部と同科目をもって替える。 ←所属学部と同科目をもって替える。
		電気通信系概論	0.5		2年次～	1学期	
		情報系概論	1		2年次～	1学期	
		情報系概論	0.5		2年次～	1学期	
	専門基礎科目	情報処理入門	2	14	2年次～	1・2学期	
		情報処理入門1	1		2年次～	1学期	
		情報処理入門2	1		2年次～	2学期	
		微分積分	2		2年次～	1・2学期	
		微分積分1	1		2年次～	1学期	
		微分積分2	1		2年次～	2学期	
		線形代数	2		2年次～	1・2学期	
		線形代数1	1		2年次～	1学期	
		線形代数2	1		2年次～	2学期	
		プログラミング	2		2年次～	3・4学期	
		プログラミング1	1		2年次～	3学期	
		プログラミング2	1		2年次～	4学期	
		確率統計	2		2年次～	3・4学期	
		確率統計1	1		2年次～	3学期	
		確率統計2	1		2年次～	4学期	
	微分方程式	2	2年次～	3・4学期			
	微分方程式1	1	2年次～	3学期			
	微分方程式2	1	2年次～	4学期			
	専門科目	画像センシング	1	14	3年次～	2学期	
システム安全性工学		1	3年次～		4学期		
エネルギー環境システム基礎論		1	3年次～		3学期		
インターフェイス設計学		1	3年次～		3学期		
合計			23				

- 注) 1 工学部学生は、このコースは履修できません。  
 2 10名に人数制限する。  
 3 機械システム系概論，電気通信系概論，情報系概論はそれぞれ同授業科目名は重複不可です。  
 4 情報処理入門1，2と情報処理入門は重複履修不可です。  
 5 微分積分1，2と微分積分は重複履修不可です。  
 6 線形代数1，2と線形代数は重複履修不可です。  
 7 プログラミング1，2とプログラミングは重複履修不可です。  
 8 確率統計1，2と確率統計は重複履修不可です。  
 9 微分方程式1，2と微分方程式は重複履修不可です。

### 環境科学コース（平成27年度入学生に適用）

コース概要：

地球環境や地域環境について理解するため、川や海、大気、土や地盤、社会、文化など多様なメニューの中から自分の知りたい「環境」について学ぶ。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次	摘 要	
選 択 科 目	専門基礎科目	技術者倫理	2	10	1年次～	平成28年度以降開講なし
		水質学	2		2年次～	
		環境と生物	2		1年次～	
		地球と環境	2		1年次～	
		循環型社会システム	2		2年次～	
		環境影響評価学	2		2年次～	
		環境と地盤	2		1年次～	
		気象と水象	2		1年次～	
		環境と地理	2		1年次～	
		基礎地球科学	2		1年次～	
		実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	2		2年次～	
		実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	2		2年次～	
			専門科目		環境アナリシス	
環境情報モデル学	2			3年次～		
環境数理生物学	2			3年次～		
環境統計科学Ⅱ	2			3年次～		
環境水理学	2			3年次～		
景観論	2			3年次～		
地下水工学	2			3年次～		
河川環境学	2			3年次～		
大気環境学	2			3年次～		
環境計画学	2			3年次～		
地域景観論	2			2年次～		
水域環境管理学	2			3年次～		
土壌圏管理学	2			2年次～		
地域開発論	2			3年次～		
環境経済学	2			2年次～		
土地利用計画学	2			2年次～		
地域経済学	2			1年次～		
環境気象学	2			2年次～		
森林環境論	2	3年次～				
労働環境工学	2	3年次～				
環境有機化学	2	3年次～				
合 計			30			

注) 1 履修希望者は環境理工学務事務室教務担当へ相談すること。

2 履修に当たっては、先ず、専門基礎科目を修得することが望ましい。

**廃棄物マネジメントコース（平成27年度入学生に適用）**

コース概要：

環境理工学部内では廃棄物マネジメントセンターと連携して研究を進めていることから、廃棄物問題に特化して基礎的な概念を学ぶ。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次	摘 要
必修科目	専門基礎科目	水質学	2	6	2年次～
		循環型社会システム	2		2年次～
		環境影響評価学	2		2年次～
	専門科目	廃棄物マネジメント	2	2	2年次～
選択科目	専門基礎科目	技術者倫理	2	2	1年次～
		地球と環境	2		1年次～
	専門科目	環境数理生物学	2	14	3年次～
		上下水道学	2		3年次～
		環境水理学	2		3年次～
		地下水工学	2		3年次～
		環境計画学	2		3年次～
		環境微生物学	2		3年次～
		大気環境学	2		3年次～
		土壌の物質移動学	2		2年次～
合 計			24		

- 注) 1 履修希望者は環境理工学務事務室教務担当へ相談すること。  
 2 履修に当たっては、先ず、専門基礎科目を修得することが望ましい。

**農芸化学コース（平成27年度以前入学生に適用）**

コース概要：

生物が有する優れた機能について、化学的、生化学的及び分子生物学的解析とそこから導き出された生理活性物質、新規酵素、有用遺伝子などの生物資源に関する基礎及び応用展開を学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年次	期	
必修科目	専門基礎科目	農学概論	2	6	3年次	
		農学概論1	1		3年次	1学期
		農学概論2	1		3年次	2学期
		農生命化学	2		3年次	
		農生命化学1	1		3年次	1学期
		農生命化学2	1		3年次	2学期
		農芸化学コース概論	2		2年次	
		農芸化学コース概論1	1		2年次	3学期
		農芸化学コース概論2	1		2年次	4学期
	専門科目	有機化学Ⅰ	2	8	3年次	
		有機化学1-1	1		3年次	1学期
		有機化学1-2	1		3年次	2学期
		生物化学Ⅰ	2		3年次	
		生物化学1-1	1		3年次	1学期
		生物化学1-2	1		3年次	2学期
		応用微生物学Ⅰ	2		3年次	
		応用微生物学1-1	1		3年次	1学期
		応用微生物学2-1	1		3年次	2学期
		分析化学	2		3年次	
分析化学1	1	3年次	1学期			
分析化学2	1	3年次	2学期			
選択科目	専門基礎科目	基礎微生物学	2	2	2年次	
		基礎微生物学1	1		3年次	1学期
		基礎微生物学2	1		3年次	2学期
		基礎分子生物学	2		2年次	
		基礎分子生物学1	1		2年次	3学期
		基礎分子生物学2	1		2年次	4学期
		応用植物科学コース概論	2		2年次	
		応用植物科学コース概論1	1		2年次	3学期
		応用植物科学コース概論2	1		2年次	4学期
		応用動物科学コース概論	2		2年次	
		応用動物科学コース概論1	1		2年次	3学期
		応用動物科学コース概論2	1		2年次	4学期
		環境生態学コース概論	2		2年次	
	環境生態学コース概論1	1	2年次	3学期		
	環境生態学コース概論2	1	2年次	4学期		
	専門科目	有機化学Ⅱ	2	14	2年次	
		有機化学2-1	1		2年次	3学期
		有機化学2-2	1		2年次	4学期
		生物化学Ⅱ	2		2年次	
		生物化学2-1	1		2年次	3学期
		生物化学2-2	1		2年次	4学期
		応用微生物学Ⅱ	2		2年次	
		応用微生物学2-1	1		2年次	3学期
		応用微生物学2-2	1		2年次	4学期
		遺伝子工学	2		2年次	
		遺伝子工学1	1		2年次	3学期
		遺伝子工学2	1		2年次	4学期
有機化学Ⅲ		2	3年次			
有機化学3-1		1	3年次		1学期	
有機化学3-2	1	3年次	2学期			
生物化学Ⅲ	2	3年次				
生物化学3-1	1	3年次	1学期			
生物化学3-2	1	3年次	2学期			
応用微生物学Ⅲ	2	3年次				
応用微生物学3-1	1	3年次	1学期			
応用微生物学3-2	1	3年次	2学期			
生物物理化学	2	3年次				

	生物物理化学1	1		3年次	1学期
	生物物理化学2	1		3年次	2学期
	酵素化学	2		3年次	
	酵素化学1	1		3年次	1学期
	酵素化学2	1		3年次	2学期
	食品生化学	2		3年次	
	食品生化学1	1		3年次	1学期
	食品生化学2	1		3年次	2学期
	食品化学	2		3年次	
	食品化学1	1		3年次	3学期
	食品化学2	1		3年次	4学期
	生物有機化学	2		3年次	
	生物有機化学1	1		3年次	3学期
	生物有機化学2	1		3年次	4学期
	細胞生化学	2		3年次	
	細胞生化学1	1		3年次	3学期
	細胞生化学2	1		3年次	4学期
	有機構造解析学	2		4年次	
	有機構造解析学1	1		4年次	1学期
	有機構造解析学2	1		4年次	2学期
	生体高分子解析学	2		4年次	
	生体高分子解析学1	1		4年次	1学期
	生体高分子解析学2	1		4年次	2学期
	合 計		30		

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

また、平成28年度から60分4学期制に移行するため、カリキュラムが改定されます。

平成27年度以前において、既に青字で示した科目を修得した場合は、当該科目の読み替えとなる新設された科目を履修しないよう注意してください。

農学部学生は、このコースは履修できません。

## 応用植物科学コース（平成27年度以前入学生に適用）

コース概要：

植物が有する多様な機能に関する分子生物学的、分子遺伝学的基礎を学ぶとともに、作物の育種、栽培および収穫物の利用という一連の生産過程を体験も取り入れて学び、作物生産の基礎を習得する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年	期		
必修科目	専門基礎科目	農学概論	2	7	3年次		
		農学概論1	1		3年次	1学期	
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		農業生物学	2		3年次		
		農業生物学1	1		3年次	1学期	
		農業生物学2	1		3年次	2学期	
		応用植物科学コース概論	2		2年次		
		応用植物科学コース概論1	1		2年次	3学期	
		応用植物科学コース概論2	1		2年次	4学期	
		農場体験実習	1		3年次	夏季集中	
選択科目	専門基礎科目	農生命化学	2	4	3年次		
		農生命化学1	1		3年次	1学期	
		農生命化学2	1		3年次	2学期	
		農業資源学	2		3年次		
		農業資源学1	1		3年次	1学期	
		農業資源学2	1		3年次	2学期	
		基礎遺伝学	2		2年次		
		基礎遺伝学1	1		3年次	1学期	
		基礎遺伝学2	1		3年次	2学期	
		基礎分子生物学	2		2年次		
	基礎分子生物学1	1	2年次	3学期			
	基礎分子生物学2	1	2年次	4学期			
	専門科目	日本農業論	植物遺伝学	2	18	2年次	
			植物遺伝学1	1		2年次	3学期
			植物遺伝学2	1		2年次	4学期
			植物生理学	2		3年次	
			植物生理学1	1		2年次	3学期
			植物生理学2	1		2年次	4学期
			園芸学	2		3年次	
			果樹園芸学1	1		3年次	1学期
果樹園芸学2			1	3年次		2学期	
栽培学			2	3年次			
栽培学1	1	3年次	1学期				
栽培学2	1	3年次	2学期				
植物病理学	2	3年次					
植物病理学1	1	3年次	1学期				
植物病理学2	1	3年次	2学期				
植物形態学	2	3年次					
植物形態学	1	2年次	3学期				
植物栄養学	1	2年次	4学期				
農産物生理学	2	3年次					
農産物生理学1	1	3年次	1学期				
農産物生理学2	1	3年次	2学期				
農産物利用学	2	3年次					
農産物利用学1	1	3年次	3学期				
農産物利用学2	1	3年次	4学期				
遺伝子工学	2	3年次					
遺伝子工学1	1	3年次	3学期				
遺伝子工学2	1	3年次	4学期				
植物育種学	2	3年次					
植物育種学1	1	3年次	3学期				
植物育種学2	1	3年次	4学期				
花卉園芸学	2	3年次					
花卉園芸学1	1	3年次	3学期				
花卉園芸学2	1	3年次	4学期				

	果樹園芸学	2		3年次	
	果樹園芸学A	1		3年次	3学期
	果樹園芸学B	1		3年次	4学期
	作物学	2		3年次	
	作物学1	1		3年次	3学期
	作物学2	1		3年次	4学期
	野菜園芸学	2		3年次	
	野菜園芸学1	1		3年次	3学期
	野菜園芸学2	1		3年次	4学期
合 計			29		

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

また、平成28年度から60分4学期制に移行するため、カリキュラムが改定されます。

平成27年度以前において、既に青字で示した科目を修得した場合は、当該科目の読み替えとなる新設された科目を履修しないよう注意してください。

※園芸学は果樹園芸学1、果樹園芸学2に対応しています。

農学部学生は、このコースは履修できません。

応用動物科学コース(平成27年度以前入学生に適用)

コース概要:

人類の福祉に貢献するものとしての「家畜」とはいかなる存在であるかについて学ぶ。家畜の成立過程とその意義、さらに近年の新たな人との関係、および将来期待される応用の可能性についても考える。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年	期	
必修科目	専門基礎科目	応用動物科学コース概論	2	2	2年次	
		応用動物科学コース概論1	1		2年次	3学期
		応用動物科学コース概論2	1		2年次	4学期
	専門科目	動物生産管理学	2	10	2年次	
		動物生産管理学1	1		3年次	1学期
		動物生産管理学2	1		3年次	2学期
		動物生理学	2		3年次	
		動物生理学1	1		3年次	1学期
		動物生理学2	1		3年次	2学期
		動物育種学	2		3年次	
		動物育種学1	1		2年次	3学期
		動物育種学2	1		2年次	4学期
		畜産食品学	2		3年次	
		畜産食品学1	1		3年次	1学期
		畜産食品学2	1		3年次	2学期
		動物生殖生理学	2		3年次	
動物生殖生理学1	1	2年次	3学期			
動物生殖生理学2	1	2年次	4学期			
選択科目	専門基礎科目	農学概論	2	4	3年次	
		農学概論1	1		3年次	1学期
		農学概論2	1		3年次	2学期
		農業生物学	2		3年次	
		農業生物学1	1		3年次	1学期
		農業生物学2	1		3年次	2学期
		基礎遺伝学	2		2年次	
		基礎遺伝学1	1		3年次	1学期
	基礎遺伝学2	1	3年次	2学期		
	専門科目	動物遺伝学	2	10	2年次	
		動物遺伝学1	1		2年次	3学期
		動物遺伝学2	1		2年次	4学期
		動物栄養学	2		2年次	
		動物栄養学1	1		2年次	3学期
		動物栄養学2	1		2年次	4学期
		畜産食品微生物学	2		2年次	
		動物応用微生物学1	1		2年次	3学期
		動物応用微生物学2	1		2年次	4学期
		動物細胞科学	2		3年次	
		動物細胞科学1	1		3年次	1学期
		動物細胞科学2	1		3年次	2学期
		栄養生化学	2		3年次	
		栄養生化学1	1		3年次	3学期
		栄養生化学2	1		3年次	4学期
		動物組織・形態学	2		3年次	
		動物組織・形態学1	1		3年次	1学期
動物組織・形態学2		1	3年次		2学期	
動物発生工学	2	3年次				
動物発生工学1	1	3年次	1学期			
動物発生工学2	1	3年次	2学期			
実験動物科学	2	3年次				
実験動物科学1	1	3年次	1学期			
実験動物科学2	1	3年次	2学期			
動物生体防御学	2	2年次				
動物生理学3	1	3年次	3学期			
家畜伝染病学	2	3年次				
家畜伝染病学	1.5	3年次	夏季集中			

(隔年)

(隔年)

	食品衛生学	2		3年次		(隔年)
	食品衛生学	1.5		3年次	夏季集中	(隔年)
	合 計		26			

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

また、平成28年度から60分4学期制に移行するため、カリキュラムが改定されます。

平成27年度以前において、既に青字で示した科目を修得した場合は、当該科目の読み替えとなる新設された科目を履修しないよう注意してください。

※動物生体防御学は動物生理学3に対応しています。

**農学部学生は、このコースは履修できません。**

## 環境生態学コース（平成27年度以前入学生に適用）

### コース概要：

地域から地球環境を対象として環境と生態系、生物群集と個体群の仕組み、人間活動から見た食料確保と供給について生態学・経済学・情報工学の視点から総合的に学習する。生物多様性と進化、地球温暖化を含む気象生態と砂漠化という地球レベルの環境問題と、食料の生産基盤と技術、生産システムと流通、資源管理と地域計画を発展的に学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年	期	
必修科目	専門基礎科目	農学概論	2	4	3年次	
		農学概論1	1		3年次	1学期
		農学概論2	1		3年次	2学期
		環境生態学コース概論	2		2年次	
		環境生態学コース概論1	1		2年次	3学期
		環境生態学コース概論2	1		2年次	4学期
選択科目	専門基礎科目	農業資源学	2	4	3年次	
		農業資源学1	1		3年次	1学期
		農業資源学2	1		3年次	2学期
		地球環境論	2		2年次	
		生態学概論1	1		3年次	1学期
		生態学概論2	1		3年次	2学期
		農業生物学	2		3年次	
		農業生物学1	1		3年次	1学期
		農業生物学2	1		3年次	2学期
	専門科目	日本農業論	2	22	2年次	
		環境保全学	2		3年次	
		地域環境管理学	1		3年次	1学期
		生物多様性保全学	1		3年次	2学期
		森林生態学概論	2		3年次	
		森林保全学1	1		3年次	2学期
		動物生態学	2		3年次	
		動物生態学1	1		3年次	1学期
		動物生態学2	1		3年次	2学期
		農業経営学	2		3年次	
		農業経営学1	1		3年次	1学期
		農業経営学2	1		3年次	2学期
		農業気象学	2		3年次	夏季集中
		応用生物統計学	2		3年次	
		応用生物統計学1	1		3年次	1学期
		応用生物統計学2	1		3年次	2学期
		農業ロボット工学概論	2		3年次	
		農業ロボット工学概論1	1		3年次	1学期
農業ロボット工学概論2	1	3年次	2学期			
樹木生理生態学Ⅰ	2	3年次				
樹木生理生態学1	1	3年次	1学期			
森林保全学	2	2年次				
森林保全学2	1	3年次	1学期			
緑地保全学	2	2年次				
緑地保全学	1	3年次	3学期			
土壌環境学	2	3年次				
土壌環境学	1	3年次	4学期			
進化生物学	2	3年次				
基礎昆虫学	2	3年次				
基礎昆虫学	1	2年次	3学期			
水系保全生物学	2	2年次				
水系保全生物学	1	3年次	4学期			
農業経済学	2	3年次				
農業経済学1	1	2年次	3学期			
農業経済学2	1	2年次	4学期			
資源管理学	2	2年次				
資源管理学1	1	2年次	3学期			
資源管理学2	1	2年次	4学期			
生物生産機械学	2	2年次				

(隔年)

	生物生産機械学1	1		2年次	3学期
	生物生産機械学2	1		2年次	4学期
	農環境物理学	2		2年次	
	農環境物理学1	1		2年次	3学期
	農環境物理学2	1		2年次	4学期
	食料情報学	2		3年次	
	食料情報学1	1		3年次	1学期
	食料情報学2	1		3年次	2学期
	農村計画学	2		3年次	
	農村計画学1	1		3年次	3学期
	農村計画学2	1		3年次	4学期
	食料政策学	2		3年次	
	食料政策学1	1		3年次	3学期
	食料政策学2	1		3年次	4学期
	農業協同組合論	2		3年次	
	農業協同組合論1	1		1年次	1学期
	農業協同組合論2	1		2年次	2学期
	合 計		30		

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

また、平成28年度から60分4学期制に移行するため、カリキュラムが改定されます。

平成27年度以前において、既に青字で示した科目を修得した場合は、当該科目の読み替えとなる新設された科目を履修しないよう注意してください。

※地球環境論は生態学概論1及び生態学概論2に、環境保全学は地域環境管理学及び生物多様性保全学に、森林生態学概論は森林保全学1に対応しています。

農学部学生は、このコースは履修できません。